

京都府民総合体育大会中・高生女子採点規則及び総体規則について 学年別別大会

<全体について>

- ・ Eスコア及びその他については2022年度版(変更Ⅱ)に準ずる
- ・ 変更Ⅱで認められている要素(平均台・床)は、構成要求として認められる
- ・ 5要素以下の場合、最終スコアからニュートラルディダクション(減点)をする

5要素	6.00
4要素	5.00
3要素	4.00
2要素	3.00
1要素	2.00

<跳馬> 跳馬125cm 3助走2跳躍

- ・ 採点の観点
 - (1) 各跳躍に対して距離・高さ・回転が正確に実施されているものに対して評価をする。
 - (2) 不完全な実施に対しては、減点をする。
 - (3) 美しい姿勢での実施を評価する。
- ・ 採点規則集にない跳躍について

跳躍名	Dスコア	Eスコア
台上前転	1.00	5.00からの減点

<段違い平行棒> 高棒255cm 低棒175cm

- ・ 採点の観点
 - (1) 肘の曲がりや膝・つま先のゆるみがない、美しく伸びた姿勢の正確な技術での実施を評価する。
 - (2) 演技の中断に対しては、厳しく減点をする。
- ・ Dスコアについて
 - (1) 6要素以上、最大8要素での構成(同一技は、2回まで要素として承認する)
 - (2) 逆上がりをA難度として1回のみ承認する。(CR不可)
 - (3) 構成要求CR 各0.5
 - ①低棒と高棒で少なくとも1つ以上の技を実施
 - ②棒間移動(技でなくてもよい)
 - ③棒に近い回転系の技(空中局面を伴わない)
 - ④倒立に到達する技

<平均台> 高さ125cm

- ・ 採点の観点
 - (1) 調整や停止がなくリズムとテンポに変化のある流れるような演技、芸術性のある演技を評価する。
 - (2) 美しい姿勢での、正確な技の実施を評価する。
- ・ Dスコアについて
 - (1) 構成要求CR 各0.5
 - ①180度開脚(前後/左右)または開脚屈伸姿勢のリープ・ジャンプ・ポップを1つは含む少なくとも2つの異なる技からなるダンス系の組み合わせ
 - ②ターン(グループ3)または接転系の技/旋回
 - ③後方のアクロバット系要素(後転可)
 - ④前方または側方のアクロバット系要素(前転可)

<ゆか>

- ・ 採点の観点
 - (1) リズムとテンポに変化のある流れるような躍動感のある演技、芸術性のある演技を評価する。
 - (2) 美しい姿勢での、正確な技の実施を評価する。
- ・ Dスコアについて
 - (1) 構成要求CR 各0.5
 - ①180度の前後/左右開脚または開脚屈伸姿勢の跳躍技を1つは含む少なくとも2つの異なるダンス系での移動
 - ②片足上のターン(360度以上)
 - ③前方の宙返りを含むアクロバット系要素
 - ④1つの後方の空中局面を伴う少なくとも2つの技からなるアクロライン(ロンダート～バク転可)